

副産物情勢

9月12日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																										
内 臓	1.国産牛	○ 7月の成牛と畜頭数は、100.1千頭(前年比105.0%)と前年を上回った。 内訳を見ると、和牛:51.1千頭(前年比111.4%)、交雑牛:22.6千頭(同98.3%)、乳牛去勢:11.3千頭(同101.4%)となった。 ○ 8月の成牛と畜頭数は、速報値(8月31日まで集計)で79.6千頭(前年比93.2%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(8月28日公表)によると、8月、9月の出荷頭数は、交雑種の増加が見込まれるものの、和牛、乳用種の減少が見込まれることから、前年を下回ると予測する。 (8月 84.5千頭(前年比98.4%)、9月 88.4千頭(同97.8%)) そのため、3か月平均(7月～9月)では、出荷頭数91.2千頭(前年比100.6%)、生産量29.0千トﾝ(同101.6%)と前年並みの予測となっている。 ○ 需 給 動 向 ： 赤物は全体的に荷動きは堅調。タン・ハラミ・ホホ・ハツ等の引き合いが継続しており、在庫がひっ迫している。レバーは冷凍の荷動きが芳しくなく、市中在庫が増えてきている。 白物は全体的に荷動きは芳しくない。特に小腸が停滞しており、値下がり傾向が継続している。今後冬の需要期を控え、市況動向に注意が必要。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
	令和3年4月 1日	35	7																										
令和3年4月 26日	25	5																											
令和3年10月 18日	35	7																											
令和4年2月7日	25	5																											
令和4年4月4日	35	7																											
令和4年8月8日	45	9																											
2.国産豚	○ 7月の全国豚と畜頭数は、1,311千頭と前年を上回った。(前年比105.1%) 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道103.6%、東北99.2%、関東106.2%、北陸甲信越106.3%、東海108.7%、近畿113.6%、中四国107.7%、九州・沖縄106.4% ○ 8月の全国と畜頭数は、1,224千頭(速報値8月31日まで集計、前年比94.1%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同様で、1日当たりの平均と畜頭数は61,180頭(前年実績:65,013頭/日、前年差▲3,833頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;8月21日付け)によると、9月;1,323千頭(前年比102%)、10月;1,432千頭(同100%)、11月;1,468千頭(同99%)、12月:1,490千頭(同102%)、令和7年1月:1,417千頭(同100%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約101%と前年並みの見込み。 ○ 需 給 動 向 ： 全体的に冷蔵品の荷動きは堅調。特にホホ・コメカミ・タン・ハラミについては、輸入品の高騰に加え、夏場の需要増加により好調推移。 冷凍レバーや白物全般は引き続き市中在庫が滞留しており、9月以降と畜頭数増加に伴い、安価な商品の流通が増える可能性があるため注視が必要。	2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>			価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																											
令和3年3月 11日	35	4																											
令和3年4月19日	25	3																											
令和3年10月 15日	35	4																											
令和4年2月1日	25	4																											
令和4年3月28日	35	4																											
令和4年8月1日	45	5																											
3.輸入牛	○ 7月の輸入通関実績は、全体で49.3千トﾝと前年を上回った(前年比127.5%、前月比103.8%)。 内訳ではチルド:18.9千トン(前年比97.4%、前月比106.5%)、フローズン:30.5千トﾝ(前年比157.7%、前月比102.1%)となった。 輸入相手国別では、チルドは豪州、ニュージーランドが増加した。フローズンは豪州、米国、ニュージーランド、カナダが増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドは、国内需要の低迷により低調に推移する中、輸入品在庫量が多く前年同月の輸入量が少なかった等から、8月、9月ともに前年同月を上回ると予測する。 フローズンは、8月は相場高の影響による米国産輸入量の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する一方、9月は、上回ると予測している。3か月平均では、チルドは前年並み、フローズンは上回ると見込んでいる。 令和6年 8月 合計:43.5千トﾝ(前年比95.3%)、チルド:17.4千トﾝ(同100.5%)、フローズン:26.1千トﾝ(同92.1%) 令和6年 9月 合計:40.2千トﾝ(前年比108.6%)、チルド:15.6千トﾝ(同101.8%)、フローズン:24.6千トﾝ(同113.4%) ○ 輸入牛内臓実績(令和6年6月):牛腸(冷凍) ;1,226.3トﾝ(前年比111.1%・前月比106.8%) 国別実績;米国873.6トﾝ、メキシコ138.2トﾝ、豪州131.6トﾝ、カナダ70.7トﾝ、スペイン10.2トﾝ、他 牛レバー(冷凍);58.2トﾝ(前年比91.5%・前月比109.9%) 国別実績;豪州29.0トﾝ、メキシコ23.1トﾝ、米国5.8トﾝ、他	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																											
令和元年7月22日	700	10																											
令和2年3月16日	500	10																											
令和2年6月15日	100	10																											
令和2年7月20日	100	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年5月24日	10	10																											
令和5年10月16日	10	2																											
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 7 月) : 37,840枚(前年比85.7%、前月比80.2%) 国別実績;タイ26,310枚(前年比92.5%)、韓国10,430枚(同233.1%)、フィリピン550枚(同13.8%)ベトナム550枚(同12.9%) 輸出平均価格(令和6年7月):2,872円/枚(前年差+519円、前月差+90円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 6 年 7 月) : 牛大判皮16,670枚(前年比53.2%、前月比80.5%)、ウェットブルー18,806枚※(同98.1%、同84.2%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和6年7月):牛大判皮7,953円/枚(前年差+248円、前月差△939円)、ウェットブルー12,088円/枚(同+2,158円、同+942円) ○ 海 外 情 勢 : 円安の影響で底値からは回復しているものの運賃上昇等のコストは吸収できていない。海外タンナーも注文が減少しているため、生産調整を余儀なくされている。 ○ 国 内 情 勢 : 皮革製品需要の減少やタンナーの人手不足等により国内産皮革の流通量が落ち込んでいる。皮革製品の需要喚起が必要である。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>			価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																										
令和元年8月15日	1,000	10																											
令和2年3月16日	800	10																											
令和2年6月22日	300	10																											
令和2年7月27日	300	2																											
令和2年9月28日	10	2																											
令和3年6月1日	10	10																											
令和5年10月23日	10	2																											
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 6 年 7 月) : 877,076枚(前年比95.8%、前月比91.4%) 国別実績;タイ742,456枚(前年比112.3%)、カンボジア78,600枚(同55.8%)、ベトナム31,300枚(同41.7%)、韓国24,720枚(同64.2%) 輸出平均価格(令和6年7月):459円/枚(前年差+84円、前月差+28円) ○ 需 給 動 向 : 円安のため輸出価格は上がっているが、海外タンナーの在庫過多の状況は続いている。 需要回復への期待により春ごろから上昇傾向にあったが、実需が伴っておらず、秋口から下落が予想されている。	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr><tr><td>令和6年7月1日</td><td>145</td><td>145</td></tr></table>			価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145	
価格改定年月日	牛脂	豚脂																											
令和4年4月1日	175	170																											
令和4年7月1日	195	190																											
令和5年1月1日	175	175																											
令和5年4月1日	165	175																											
令和5年7月1日	155	165																											
令和5年10月1日	145	155																											
令和6年7月1日	145	145																											
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(9月渡し):牛脂145円/kg(前年差△10円、前月差±0円)、豚脂145円/kg(同△20円、同±0円) 牛脂は、ファストフードチェーンの業績伸長に伴い需要は回復傾向にあるものの、カレールウの需要減少が影響し、需給は緩和している。 豚脂は、生産量が堅調なことに加え、需給ひっ迫時に調製ラードへ移行した需要が純製ラードへ完全には戻らない等、消費量が減少していることから需給は緩和している。 ○ マレーシア産パーム油相場(8月):172円/kg(前年差+16円、前月差+3円) 7月生産量は184万トン(前月比114.0%)、輸出量は168万トン(同139.9%)、月末在庫は173万トン(同94.6%)となった。 ツリーの植替え状況から生産量の低下が懸念されているものの、依然としてバイオ燃料の需要は拡大しており、増産期の生産量が相場を左右すると見込む。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (8 月) : 114円/kg(前年差△30円、前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (8 月) : 95円/kg(前年差△20円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(8月):123円～126円/kg程度(前年差△20円、前月差±0円)																											